

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう西藤

公表日

2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・部屋を分けて活動している。	利用者の成長に伴い、建物が手狭に感じられる可能性があるため、部屋の使い方を検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・法定基準に則って配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・運動ルーム・学習ルームなどの表示を用いて明確に示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日清掃と消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・状況に応じて運動やカームダウンなどの為に部屋を分けて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎日のミーティングや月に1度の職員会議にて業務改善の話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎年評価を頂き、頂いたご意見から改善策を検討し、実行している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・ミーティングや職員会議にて行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	・社内の委員会活動としてラウンド評価を行っている。	第三者評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・全職員、社内の研修に参加している。また、対象者がいる場合には社外の研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・予定表と連絡帳を通じて、利用者様には実施前、実施後に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・日々の様子の観察や本人からの聞き取り、モニタリングでの保護者様からの聞き取りをもとに作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・カンファレンス会議にて職員全員で話し合い、計画の素案を立てている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・保護者様への説明、ご署名を頂いた後に職員全員に説明をし、支援に反映している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	・事業所では標準化されたツールによるアセスメントは行っていないが、医療機関等で行われたアセスメントの結果を参考に、支援計画や支援の実施に反映している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・全ての項目を個別支援計画に入れ込み、本人に合った内容にしたうえで実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員全員が案を持ち寄り、職員会議にてスケジュールや内容を練っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・活動検討時、ねらいが似たようなものであっても活動内容は変更するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・基本的に集団で支援を進めるが、必要に応じて個別での対応を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎朝、その日の活動内容、その日ご利用の方を確認しながら当日の支援について話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日終礼を行い、良かったことや改善点、児童の様子について振り返り、記録に残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎日支援記録を残し、モニタリングなどの際に見返している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・法定の基準に則り、半年に1度のモニタリング・支援計画の更新を行うとともに、必要に応じて適宜行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・祝日や休日の外出行事などを活用し、基本活動のすべてを組み合わせ実施できるよう意識している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・自由時間やおやつ提供時には、子どもたちが好きなものを選択したり、友だちと話し合って折衷案を探る経験を持てるようにしている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・基本的には児発管が参加し、出来ないときは他の詳しいものが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・特に相談支援事業所、学校との連携は十分にとって体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・保護者様を通じて下校時間の一覧表を頂き、また変更のある際には直接学校と連絡を取って、連携を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・新1年生としてご利用開始される際は、就学前にご利用されていた、保育園や児童発達支援事業所と連携を取り、書面で情報を頂いたり、直接見学に伺っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		対象児童はまだ在籍していないが、必要に応じて検討していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		児童発達支援センターとは直接的なやり取りは行っていないが、相談支援事業所や相談員を通じて情報共有や連携を図っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		交流を目的としたイベントは実施していないが、公園や外出イベントの際に地域の子どもと遊具を共有する場面があり、今後はこうした機会を通して交流の経験を積んでいきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・管理者のみ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	3	・送迎時や連絡帳にて状況を伝え、共通理解を持つようコミュニケーションをとっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・会としての開催はしておらず、モニタリング時や送迎時に個別で相談事などについて対応している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時、ご質問があった際に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・本人の意思の確認、モニタリングにて保護者様の想いの確認を行って作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・完成後に書面をお見せしながら説明し、署名を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・ご相談いただいた際には、職員間で共有して回答している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・ご家族でご参加いただけるイベントを長期休暇などに不定期で開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情を頂いた際にはマニュアルに則って迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・利用者様向けの夢通信、どなたでも見られるブログ等に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・契約書に記載している基準に則り、十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・相手に理解しやすい方法を検討し、配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・事業所としてのイベントへの招待は行っていないが、会社全体のイベントへの参加などを通じて、地域の方とご利用様との関わりを持つ機会としている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・マニュアルを策定し、法定の回数の訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・計画を作成し、定期的な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・書面で情報を頂き、事業所内での服薬等、処置が必要な際は2名以上で対応し、記録を残して当日保護者様にお伝えしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・指示書をもとに、保護者様から基準を伺い、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3	緊急時や外出時など、安全対策や訓練、利用者様への注意喚起は行っている。	現在、計画としての書面は作成していないが、安全計画を作成し、最大限配慮していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	・書面にはないが、緊急時はその都度、社内での指示系統に従って対応を決定し、迅速に保護様へ連絡している。	安全計画を作成し、想定される状況に応じた対応を重ねていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・ヒヤリハットは書きだし、記録として残している。	より細かい目線で注意を払い、重大事故につながる可能性を事前に防ぐ。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・毎年所定の回数の研修に全員が参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		現在、事業所内で身体拘束を行った例はないが、必要が生じた場合には法定基準に則って対応する。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者様からの評価には支援やサービスについてご納得、ご満足いただけている項目が多かった。今後とも満足いただき、安心して通い、ご相談いただける事業所であり続けたい。地域交流、保護者様交流の機会の少なさを感じておられるご意見を多くいただいたため、来年度は保護者会や交流を出来るプログラムの回数を増やしていく。